

■殺虫剤：農業・家庭園芸用

ピレスロイド系

トレボン<sup>®</sup>乳剤

登録番号：16758

毒性：一

消防法：第2石油類

有効年限：5年

成分 エトフェンブロックス……20.0%  
物理的・化学的性状 淡黄色澄明可乳化油状液体

包装：500ml×20 30ml×40

◆特長

- 接触毒、食毒による作用で、諸害虫に優れた効果を示します。
- 速効的で、しかも効果の持続性に優れています。
- 有機リン系、カーバメート系殺虫剤に感受性の低下した害虫にも安定した効果を示します。

◆適用と使用方法

作物名	適用場所	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	エトフェンブロックス を含む 農業の総使用回数
稲	—	コブノメイガ	1,000倍	60~150ℓ / 10a	収穫14日前 まで	3回 以内	散布	3回以内
		ツマグロヨコバイ ウンカ類	1,000~ 2,000倍					
		イネドロオイムシ イナゴ類	2,000倍					
		カメムシ類 イネミズゾウムシ	2,000倍	25ℓ /10a				
		ウンカ類	300~ 600倍					
		ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	300倍					
カメムシ類	600倍							
小 麦	—	ヒメトビウンカ アブラムシ類	2,000倍	60~150ℓ / 10a	—	2回 以内	2回以内	
き び	—	アオスジカスミカメ	1,000倍	100~300ℓ / 10a	—	3回 以内	3回以内	
あ わ	アワヨトウ	—			—	4回 以内	4回以内	
とうもろこし	—	アワノメイガ アワヨトウ	1,000倍	—	—	4回 以内	4回以内	
か ん き つ	—	コアオハナムグリ ケシキスイ類	1,000~ 2,000倍	200~700ℓ / 10a	収穫14日前 まで	3回 以内	—	3回以内
		ミカンハモグリガ						
マ ン ゴ ー	—	チャノキイロアザミウマ	1,000倍	—	—	—	—	—

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イトフェンブロックスを含む農薬の総使用回数		
ブロッコリー	—	アオムシ	1,000～2,000倍	100～300ℓ / 10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内		
キャベツ		アオムシ コナガ			収穫3日前まで					
はくさい		ヨトウムシ アブラムシ類			収穫7日前まで					
だいこん										
ねぎ		シロイチモジヨトウ	1,000倍		収穫21日前まで	2回以内		2回以内		
レタス		アブラムシ類			収穫14日前まで	3回以内		3回以内		
すいか		アブラムシ類 コナジラミ類 ハスモンヨトウ ヨトウムシ			収穫3日前まで					
きゅうり		アブラムシ類 コナジラミ類			収穫前日まで				4回以内	4回以内
メロン					収穫3日前まで					
にがうり		アブラムシ類 コナジラミ類 ヨトウムシ類 カメムシ類 ウリノメイガ			1,000～2,000倍	収穫前日まで		3回以内	3回以内	
かぼちゃ		コナジラミ類 ウリハムシ								
なす		アブラムシ類								
トマト		コナジラミ類			1,000倍			2回以内	2回以内	
ピーマン		アブラムシ類						3回以内	3回以内	
オクラ		アブラムシ類 カメムシ類								
さやえんどう 実えんどう		シロイチモジヨトウ ヨトウムシ ウラナミシジミ	1,000倍		2回以内			2回以内		
さやいんげん		ワタアブラムシ ウラナミシジミ マメノメイガ								

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数	
えだまめ	—	マメシクイガ シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ウコンノメイガ ツメクサガ	1,000倍	100～300ℓ / 10 a	収穫14日前 まで	2回 以内	散布	2回以内	
		ハスモンヨトウ	1,000～ 2,000倍						
未成熟ささげ		アブラムシ類	3回 以内		収穫前日 まで	3回以内		3回以内	
ばれいしょ		ナカジロシタバ アブラムシ類 ハスモンヨトウ			収穫7日前 まで				
かんしょ		ハスモンヨトウ			収穫14日前 まで 収穫7日前 まで				
さといも		アブラムシ類 ヤマノイモコガ ハスモンヨトウ	1,000倍		100～300ℓ / 10 a	収穫14日前 まで		2回 以内	2回以内
さといも (葉柄)		アブラムシ類 ヤマノイモコガ ハスモンヨトウ				収穫7日前 まで			
やまのいも やまのいも (むかご)		マメシクイガ アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ ウラナミシジミ アズキノメイガ	1,000倍		100～300ℓ / 10 a	収穫14日前 まで		2回 以内	2回以内
豆類 (種実、ただし、 だいず、あずきを 除く)		マメシクイガ アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ ウラナミシジミ アズキノメイガ ウコンノメイガ ツメクサガ							
だいず		マメシクイガ アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ ウラナミシジミ アズキノメイガ ウコンノメイガ ツメクサガ	1,000倍		100～300ℓ / 10 a	収穫14日前 まで		2回 以内	2回以内

作物名	適用場所	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	エトフェンプロックス を含む 農薬の総使用回数	
あずき	-	マメシンクイガ アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ ウラナミシジミ ノメイガ類	1,000倍	100~300ℓ/ 10a	収穫14日前 まで	2回 以内	散布	2回以内	
ほうきぎ		ホウキギツツミノガ			収穫30日前 まで				
しょうが 葉しょうが		ハスモンヨトウ	1,000~ 2,000倍		収穫7日前 まで	3回 以内		3回以内	
てんさい		ヨトウムシ							
せんきゅう		ウリハムシモドキ	1,000倍		収穫14日前 まで	1回		1回	
モロヘイヤ		アザミウマ類							
あしたば		アブラムシ類	2,000倍		3回 以内	3回以内			
ふき		コナジラミ類 フキノメイガ ヨトウムシ							
うど		アブラムシ類	1,000倍		根株養成期 但し、収穫 45日前まで	2回 以内		2回以内	
みつば					収穫21日前 まで 但し、伏せ 込み栽培は 伏せ込み前 まで				
食用ぎく					2,000倍				収穫3日前まで
せり					水田				1,000倍
せり (水耕栽培)		ガラス室等 の施設							
みずいも	水田	オキナワイナゴモドキ	2,000倍	200~400ℓ/ 10a	摘採21日前 まで	2回 以内	2回以内		
茶	-	チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ	2,000倍	25~180ℓ/ 10a	-	2回 以内	2回以内		
たばこ		タバコガ ヨトウムシ	1,000~ 2,000倍						
		アブラムシ類	1,000~ 2,000倍						

作物名	適用場所	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	イトフェンプロックス を含む 農業の総使用回数
採種用とうき	-	キアゲハ	1,000倍	100~300ℓ / 10a	幼虫発生期	6回 以内	散布	6回以内
樹木類 (つつじ類、 ポインセチア、 ソテツを除く)		ケムシ類 シャクトリムシ類	4,000倍	100~700ℓ / 10a				
		オビカレハ	2,000倍					
つつじ類		ケムシ類 シャクトリムシ類	4,000倍	100~700ℓ / 10a	幼虫発生期			
		オビカレハ	2,000倍		-			
		ツツジゲンバイ	2,000倍					
ポインセチア		ケムシ類 シャクトリムシ類	4,000倍	100~700ℓ / 10a	幼虫発生期			
		オビカレハ	2,000倍		-			
		コナジラミ類	1,000倍					
ソテツ		ケムシ類 シャクトリムシ類	4,000倍	100~700ℓ / 10a	幼虫発生期			
		オビカレハ	2,000倍					
		クロマダラソテツジミ	2,000~ 4,000倍					
宿根かすみそう		シロイチモジヨトウ	1,000倍	100~300ℓ / 10a	-			
りんどう		ヨトウムシ	2,000倍					
		ヒラスハナアザミウマ						
きく カーネーション	アブラムシ類	2,000倍	100~300ℓ / 10a	発生初期				
ゆり	ハスモンヨトウ			1,000倍	-			
トルコギキョウ	ハスモンヨトウ	1,000倍	100~300ℓ / 10a	-				
水田作物、 畑作物 (休耕田)	ヨシ、オギ、ススキ、 セイタカアワダチ ソウ等の多年生雑 草が優占している 休耕田	カメムシ類	2,000倍	60~150ℓ / 10a	-	3回 以内	-	3回以内

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

### ◆注意事項

- (1)使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2)蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにすること。
- (3)散布器具、作業衣等は桑用と必ず区別すること。
- (4)ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ①ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
  - ②関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。

- (5) 本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類がふえることがあるので注意すること。
- (6) ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布すること。
- (7) きくのアブラムシ類への使用にあたっては、一部地域のフタアブラムシでは効果が劣ることがあるので使用をさけること。
- (8) 採種用とうきを使用する場合は、根部及び葉を収穫せず、種子の収穫に限ること。
- (9) 水耕栽培に使用する場合は、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理すること。
- (10) 本剤を本田の水稻に対して希釈倍数300～600倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる兼用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- (11) 本剤は自動車等の塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意すること。
- (12) 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (13) 取扱及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。

### ◆安全使用上の注意

- (1) 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2) 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (3) 原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (4) 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
- (5) 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをすること。
- (6) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

### ◆魚毒性

- (1) 水産動植物（甲殻類、冷水魚）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池等周辺での使用はさけること。なお、比較的low濃度でも魚が平衡失調を起こすおそれがあるので、十分注意すること。
- (2) 散布後は水管理に注意すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきることを。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。